



学校だより 8, 9月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

【た】くましく生きる人 【な】かよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>



みのたなくん

行合の空を見上げて ～2022年の夏休みに感じたこと・学んだこと～

校長 大原 敦子



学校近くの水田の稲穂がさざ波のように風に揺れています。この香りをかぐと、子どものころ夏休みの大半を過ごしていた祖父母の家をいつも思い出します。田奈っ子水田の稲穂には花が咲いていました。毎日暑さが厳しいですが、ふと空を見上げると高いところには秋の雲が見られます。夏と秋が混在している空を「行合(ゆきあい)の空」といいます。季節は確実に秋に向かっていきますね。



「3年ぶりの行動制限のない夏休み」と言われましたが、感染者数はとても多く、厳しい状況の夏休みでした。そのような中でも、きっと子どもたちは何か自分なりの楽しみや頑張り、経験や発見をし

て、この夏休みを過ごせたことと思います。そして子どもたちとの再会を楽しみにしながら、この巻頭言を書いています。

わたしは片付けが苦手です。毎年夏休みにしっかり片付けをしようと思うのですが、なかなか目標達成ができず、「またできなかつた」と残念に思うことが多いのです。もともと「やることをメモに書きだし、できたら線で消していく」というスタイルが好きで行っているのですが、この夏はやることをかなり細かく分けて書き出すようにしてみました。「部屋を片付ける」ではなく「〇〇の1段目の引き出しのいらぬものを捨てる」というくらい具体的にスモールステップにしてみました。そうすると「これだったら今できるかな」「ちょっとやってみようかな」という気持ちになり「できた!」「きれいになった!」がどんどん積み重なり、私のような年齢でもとても嬉しくなって続けることができました。私にとっては、なかなか貴重なこの夏の発見でした。

8月10日、大リーグ・エンゼルスの大谷翔平選手がベーブ・ルース以来104年ぶりとなる1シーズンでの2桁勝利・2桁本塁打に到達し、偉業達成と新聞やテレビで大きく取り上げられました。試合後のインタビューで彼は、「単純に二つやっている人がいなかっただけ。二刀流が当たり前になれば、もしかしたら普通の数字かもしれない」と話し、さらなる目標を聞かれると「あまり先を見すぎてもしょうがないので、きちんと寝ていい明日を迎えられるように頑張りたい」と答えたのです。とても驚いたと同時に、今自分がやることをこつこつと行う大谷選手だから到達できたのだとも感じました。

子どもたちに身に付けてほしい力の中に「自らの学習を調整しながら学ぼうとする」というものがあります。目標達成のためにどのような方法でどのようなステップをつくれればよいかは、一人ひとり異なるため、自分に合った調整が必要になるのです。私の片付けの話と大谷選手の話はあまりにスケールが違いますが、めあてに向かって自分で調整しながら日々を着実に過ごしていく、そういう力を身に付けられるように、子どもたちを育てていきたいと改めて思った夏休みでした。

本日より必要な感染防止対策・熱中症対策を取りながら、子どもたちとともに様々な活動を行っていきます。夏休み明けも保護者の皆様・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ・お願い

○まだまだ暑さも厳しいです。登下校の際、話を控えて**マスクを取る**こと・水筒の中身を多めに用意して**水分補給をこまめ**すること、**首にかける冷却タオル等**も適切に活用することなどの熱中症対策を家庭でもお子様にお声かけいただくと幸いです。

○お子様の健康観察をよろしくお願いいたします。

いつもと体調が異なる(発熱がなくとものどの痛みや咳など)ときには、無理に登校をさせず健康観察をお願いします(欠席扱いになりません)。感染拡大防止のためご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

○学校だより、学年だよりの内容を10月より一部変更いたします。

行事や下校時刻は学校だよりに一本化いたします。また、150周年に向けて広く皆様に学校の様子をお伝えできるよう、「田奈っ子の様子」は学校HPに掲載いたします。何卒ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。